



TOMONY
HOLDINGS

MINI DISCLOSURE 2023.9

令和5年9月中間期 ミニディスクロージャー誌

第14期営業の中間ご報告 令和5年4月1日～令和5年9月30日



徳島大正銀行



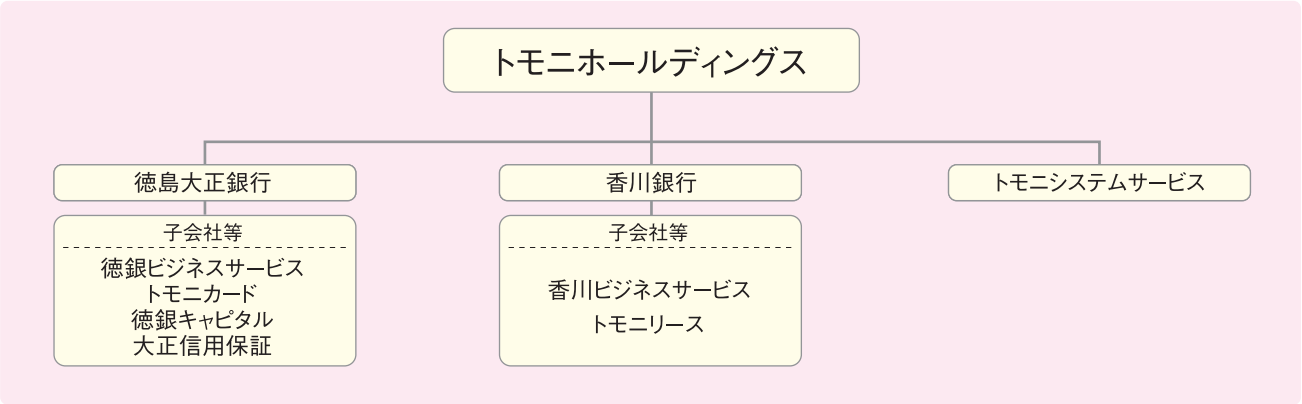
香川銀行

トモニホールディングスグループについて

ー トモニホールディングスー

● グループ概要

(令和5年9月30日現在)



● プロフィール

トモニホールディングス 株式会社

設 立 日	平成22年4月1日
所 在 地	香川県高松市亀井町7番地1
資 本 金	250億円
事 業 の 内 容	銀行持株会社
従 業 員 数	90名(各子銀行兼務者52名を含む)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所(プライム市場)

● グループ経営理念

お客さま 第一主義	お客さま第一主義の経営を徹底し、それぞれのお客さまの ニーズに応じた最良の金融サービスを提供します。
お客さまと ともに成長	地域において持続的安定的な金融仲介機能を発揮し、 地域のお客さまとともに成長し続けます。
信頼と 安心の経営	グループとしてより強固な経営基盤を構築し、お客さまから 信頼され安心して末長くおつきあいいただく存在になります。

● ブランドマーク・ロゴ



トモニホールディングス株式会社
TOMONY Holdings, Inc.
[ロゴ 和文/英文]

ブランドマークは、“ともに”協調しあって、地域のお客さまとともに、明日への発展を支えていくというビジョンを、翼を広げ飛翔するイメージに表現したものです。左右に広がる豊かな曲線はヒューマンなイメージを、2つの形が合わさる縦の直線は知性や信頼感を表現しています。
ブランドカラーは、知的でありながらヒューマンなイメージを感じさせる赤色を基調としており、TOMONYレッドといいます。

CONTENTS

トモニホールディングスグループについて	01	業績ハイライト(徳島大正銀行)	11
サステナビリティへの取組み	02	地域とともに、お客さまとともに(香川銀行)	13
第5次経営計画の概要	03	地域の価値創造に向けた取組み(香川銀行)	15
業績ハイライト(トモニホールディングス)	04	業績ハイライト(香川銀行)	19
地域とともに、お客さまとともに(徳島大正銀行)	05	店舗ネットワーク	21
地域の価値創造に向けた取組み(徳島大正銀行)	07	株式のご案内・株式の状況	裏表紙

サステナビリティへの取組み

●サステナビリティに関する基本方針

当社グループは、環境・社会問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題について、持続可能な社会の実現及び中長期的な企業価値の向上の観点から、地域金融グループとしての役割・特性を活かして積極的・能動的に取り組んでいきます。

【重要課題（マテリアリティ）に対する中長期的な取組みの方向性】



重要課題（マテリアリティ）		リスクと機会（●リスク、○機会）	中長期的な取組みの方向性	対応するSDGs
環境（E）	気候変動問題をはじめとするサステナビリティへの取組み	● 大規模風水害等の発生による当社グループの営業拠点等の被災に伴う事業への影響によるリスク ● 大規模風水害等の発生によるお客さまの営業拠点等の被災に伴う事業への影響によるリスク ● 大規模風水害等の発生に伴う不動産担保の損壊等によるリスク ● 気候変動に関する規制や税制等の変更に伴う当社グループの事業への影響によるリスク ● 気候変動に関する規制や税制等の変更に伴うお客さまの事業への影響によるリスク ○ お客さまの気候変動への対応支援による資金需要及び関連投資の増加 ○ お客さまの気候変動への対応支援に関するコンサルティング及びサービスの充実	・ SDGs・ESGをはじめとするサステナビリティへの取組みの強化 ・ 地域社会のサステナビリティへの取組みの支援強化	
	広域金融グループとしての地方創生への取組みと地方経済への貢献	● 人口減少や事業所数減少等による地域活力の減退 ○ 地方創生による地域における安定した雇用創出や地域への人口流入に伴う資金需要及び関連投資の増加	・ 広域金融グループとしての地方創生に向けた取組みの強化 ・ 法人支援態勢の強化による金融仲介機能及びコンサルティング機能の発揮 ・ 広域金融グループの強みを活かしたコンサルティング態勢の拡充 ・ 地域商社金融グループとしての提供サービスの拡充	
社会（S）	地元エリアにおける長寿化社会への対応	● 少子高齢化の進展による生産年齢人口減少による労働力の不足 ● 少子高齢化の進展による社会保障制度の後退 ○ 長寿化社会における資産運用・資産形成ニーズの高まり	・ ライフステージに応じた安心・安全で利便性の高い金融サービスの提供 ・ 個人支援態勢の強化によるコンサルティング機能の発揮 ・ お客さま本位の業務運営への取組みの強化	
	働き方改革・人材育成	● 生産年齢人口減少による採用環境の悪化及び採用コストの上昇 ● 多様な人財不足による競争力の低下 ○モチベーション向上による企業成長の促進 ○ 優秀な人財の確保及び定着化の促進	・ 働きやすい、働きがいのある職場環境の整備 ・ 実践的かつ効果的な学びの場の提供による人財の育成 ・ 多様な人財の活躍推進への取組み	
ガバナンス（G）	デジタル化への対応や更なる効率経営の追及	● システム導入・更新に伴うコストの増加 ● 非効率的な業務による生産性の低下 ○ 効率的なシステム投資によるコストの平準化及び効率的な業務運営の実現 ○ 業務効率化による生産性及び提供サービスの向上	・ BPR及びDX活用による業務効率化の追求 ・ グループベースでのコスト削減による更なる経営の効率化 ・ 次期基幹システムの検討着手	
	グループガバナンスの強化と各ステークホルダーとのコミュニケーション	● 予期せぬリスクの顕在化による損失の発生 ● 事故・災害等の被害の拡大及び復旧の遅れ ● 金融不安・景気の急変動等による財務内容の悪化及び顧客・市場等からの信頼の失墜 ○ 適切なリスクテイクによる競争力の向上 ○ 各ステークホルダーを意識した経営による企業価値の向上及び取引基盤の拡充	・ 「トモニスタイル」の進化によるグループガバナンス態勢の強化 ・ プライム上場会社として相応しい資本政策（資本充実、資本活用、株主還元）の実施 ・ グループ広報機能の強化	

気候変動への対応

当社は、環境・気候変動への対応を重要課題と捉え、令和4年5月に気候関連財務情報タスクフォース（TCFD）提言への賛同を表明しました。



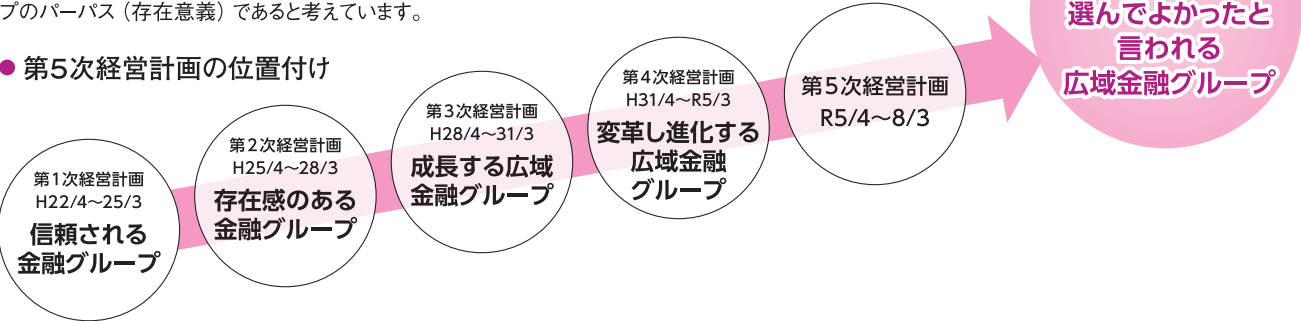
第5次経営計画の概要 令和5年4月～令和8年3月

令和5年4月より、3か年の第5次経営計画をスタートさせました。新たな中期経営計画の策定に当たっては、当社グループのパーパス（存在意義）を明確にした上で、広域金融機関グループとしての「10年後の目指す姿」に向かって、まずはすべてのステークホルダーの皆さまに対して、より高い価値を、より速く、より広く提供し、ともに成長を紡いでいくという意味で、「より高い価値を より速く より広く とともに」をスローガンとしています。

● 当社グループのパーパス（存在意義）

社員一人ひとりの成長を組織の成長に **つなげ**、各組織の成長をグループ全体の成長に **つなげ**、お客さま一人ひとり（一社一社）の成長を地域の成長に **つなげ**、各地域の成長を広域の成長に **つな**
げていくことにより、すべてのステークホルダーの皆さまとともに成長を **紡いで**いくことが、当社グループのパーパス（存在意義）であると考えています。

● 第5次経営計画の位置付け



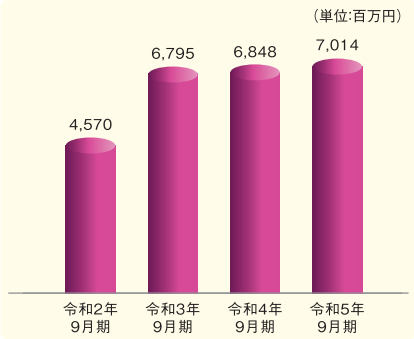
● 第5次経営計画の基本戦略と目標

基本戦略	提供価値	目標とする経営指標	目標 令和8年3月期
サステナビリティ戦略	- 社会的な責任を果たすことによる持続的な社会の実現への貢献 - 金融機能の提供を通じた地域経済の持続的な発展への貢献	親会社株主に帰属する当期純利益（連結）	収益性 148億円
営業戦略	- 金融機能の提供を通じた地域経済の持続的な発展への貢献 - 法人のお客さまの経営課題の解決に向けたスピーディかつ最適なソリューションの提供 - 個人のお客さまの多様なニーズに対する安心・安全で利便性の高い金融サービスの提供	コア業務純益（銀行子会社単体合算）	収益性 223億円
人財戦略	社員一人ひとりにとっての働きやすい、働きがいのある職場づくり	本業利益（銀行子会社単体合算）	収益性 141億円
オペレーション戦略	業務の効率化、コストの削減等を通じた中長期的な企業価値の向上	ROE（連結）	効率性 5.0%以上
ガバナンス戦略	グループの持続的な成長と強固な財務基盤の形成を通じた中長期的な企業価値の向上	コア業務粗利益OHR（銀行子会社単体合算）	効率性 60%以下
		自己資本比率（連結）	健全性 9.0%以上
		預金等残高（銀行子会社単体合算）	成長性 4兆5,000億円
		貸出金残高（銀行子会社単体合算）	成長性 3兆6,000億円

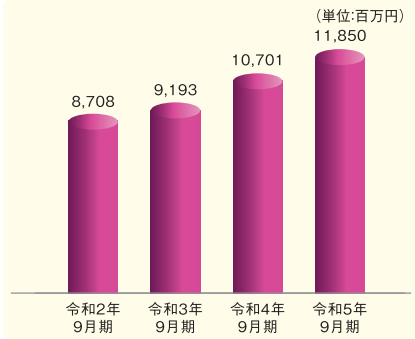
(注) 1. 本業利益（外貨調達コスト控除後）＝貸出金平残 × 預貸利轄－外貨調達コスト＋後務取引等利益－経費
2. ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益（連結）／自己資本（純資産－新株予約権－非支配株主持分）平残 ×100

業績ハイライト トモニホールディングス

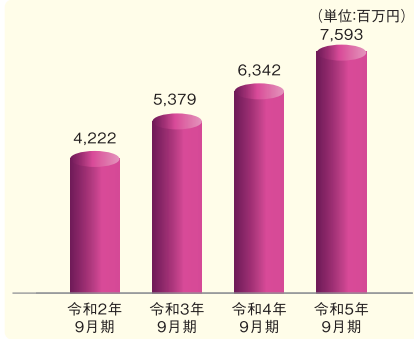
親会社株主に帰属する中間純利益(連結)



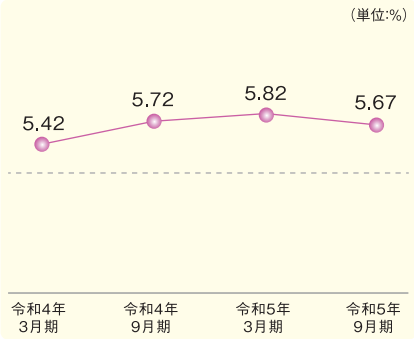
コア業務純益(銀行子会社単体合算)



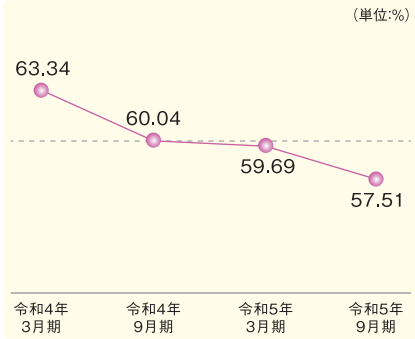
本業利益(外貨調達コスト控除後)(銀行子会社単体合算)



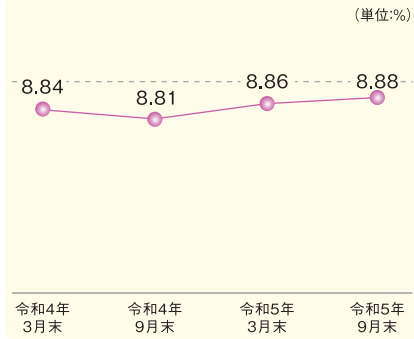
ROE(連結)



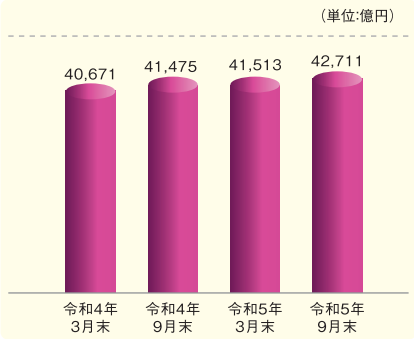
コア業務粗利益OHR(銀行子会社単体合算)



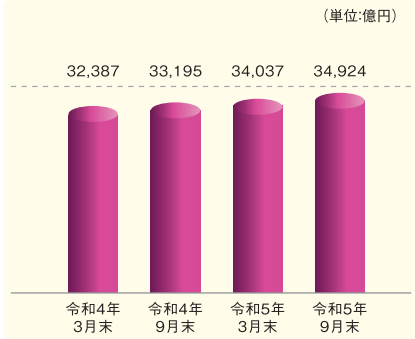
自己資本比率(連結)



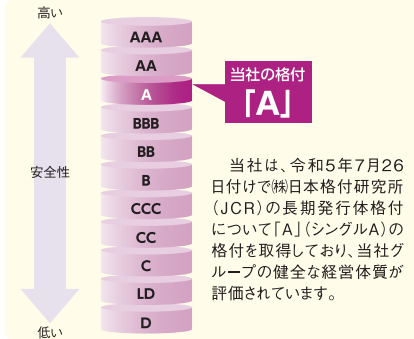
預金等残高(銀行子会社単体合算)



貸出金残高(銀行子会社単体合算)



格付(日本格付研究所)



※グラフの点線は、第5次経営計画の目標値(令和8年3月期)を示しています。

(令和5年9月30日現在)

地域とともに、お客さまとともに - 徳島大正銀行 -

● 徳島大正銀行について

(令和5年9月30日現在)

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行は、徳島県を中心とした四国地区及び関西地区を主たる営業基盤としています。

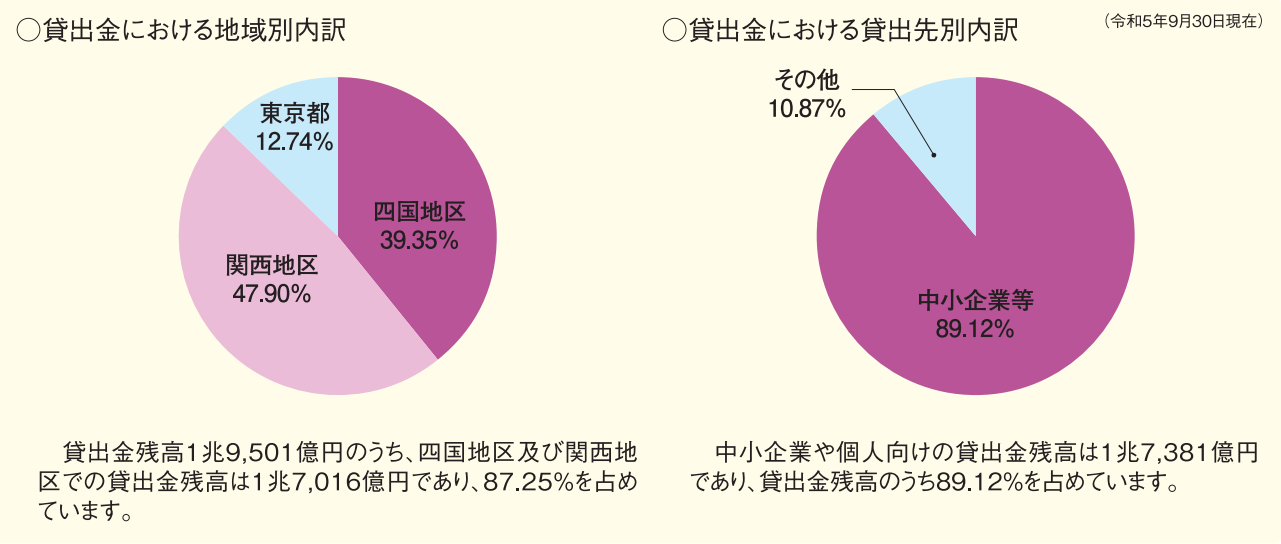


創業日	大正7年3月3日
所在地	徳島県徳島市富田浜1丁目41番地
資本金	110億円
店舗数	107店舗(うち出張所10店舗)
従業員数	1,182名

● 地域のお客さまとの取引状況

当行は、令和5年4月から令和8年3月の3年間を計画期間とする第2次経営計画において、「奉仕」、「創造」、「錬成」の経営理念のもと、当行のパーパス(存在意義)を「人、地域、社会を笑顔で満たす。」と定義しました。

地域における円滑な金融仲介機能の発揮と中小企業金融を通じて、地域経済の活性化を図るべく、地域密着型金融の推進を主要施策の一つと位置づけ、様々な取組みを進めています。



● 徳島大正銀行のSDGs・ESGへの取り組み



外部評価



健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」の認定を取得



女性の活躍推進が優良な企業として「えるばし」の認定を取得



子育てサポート及び不妊治療と仕事との両立を推進している優良な企業として「プラチナくるみんプラス」の認定を取得

(令和5年9月30日現在)

地域の価値創造に向けた取組み - 徳島大正銀行 -

地域経済活性化への取組み

お客さまのため、地域社会の発展のため、積極的に地方創生に取り組んでいます。

● お客さまの本業支援

企業経営に関する課題やお悩みの解決に向けて様々な角度から支援します。

創業・第二創業支援

ビジネスマッチング

医療・介護ビジネスサポート

地域とトモニファンドによる資金調達

資金やコンサルティングに関する外部専門家や提携先の紹介

中小企業支援施策活用のご案内

★支援の実例(外部専門家を活用した新規事業展開支援)

産業廃棄物処理業を行うお客さまの新規事業展開に対して、外部専門家を活用した支援を行いました。

同社が近年積極的に取り組んでいる培土事業・アグリ事業において、研究データやエビデンスの蓄積を課題としていたことから、業務提携先の大学を紹介し、共同研究の提案を行いました。現在、共同研究契約を締結し、効能の検証や商品改良のアドバイスを受けて商品化を進めています。

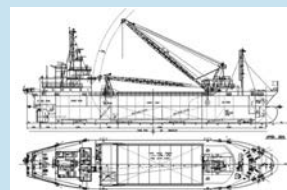


大学との共同研究を進めている商品

★支援の実例(金融支援による事業拡大支援)

船舶マンニング業を行うお客さまに、船舶貸渡業への事業展開に対する資金支援を行いました。

同社は独自の勤務形態をとることで人員確保に強みを持っており、DXにも積極的に取り組むほか、代表者自身が船舶乗組員として豊富な経験等を持っています。このような定性面の事業性評価を新船建造に対する資金支援へとつなげ、事業拡大への取組みを積極的に後押ししました。



建造する船舶の完成予想図面

★支援の実例(M&Aの仲介による事業拡大支援)

運送業を行うお客さまの事業拡大ニーズと、2024年問題の回避に向けた人材確保等の課題に対し、M&Aを提案しました。

同社に対し、後継者不在により事業承継を課題とする同業種のお客さまを紹介し、M&Aが成約したことにより、新たな中継基地となる拠点と人材の確保につながりました。

また、譲渡会社についても現状の営業基盤と雇用が維持できたことで、円滑な事業承継につながりました。



事業所(倉庫・トラック等)

★支援の実例 (SDGsの取組みにおける支援)

営農型太陽光発電を行うお客さまに、販路拡大やDX化、金融面などの課題解決に向けた様々な支援を行いました。

同社グループは、「食とエネルギーの地産地消」をコンセプトに、耕作放棄地で太陽光発電を行うとともに、パネル下の空間を活用して農作物の栽培・加工販売を行っています。同社への支援により、耕作放棄地の活用や太陽光発電などSDGsに貢献し、地域経済の発展に寄与する取組みとなりました。



ドクダミ農地に設置された太陽光パネル

●「とくぎんDX・ICTサポート」の開始

地域の中小企業の皆さまのDX・IT化を支援することを目的として、「とくぎんDX・ICTサポート」を開始しました。

営業店・本部連携の上、提携パートナーの知見やノウハウを活かし、お客さまのニーズに寄り添った幅広いサービスを提供します。

★DXコンサルティングのプロフェッショナル

提携パートナー(株)i-SHInビジネスには、中小企業診断士とITコーディネータの資格を持つDX支援のプロフェッショナルが在籍しています。行員と同行し、デジタル化やIT化によるお客さまの課題解決を全力で支援いたします。



●とくぎんサクセスクラブのブロック別セミナーを開催

とくぎんサクセスクラブでは、地域の皆さまの更なる発展のためのお手伝いを行っています。一般経営、研修・人材育成、労務、実務家・健康・ライフスタイル、税務・経理、法律と多岐にわたるセミナーを開催しています。

令和5年7月から9月にかけて、ブロック別セミナーを4年ぶりに集合形式で開催し、お客さまと交流を深めました。

地区	内 容
徳島 市内地区	【演題】 新時代を築くリーダーシップ 【講師】 早稲田大学名誉教授 早稲田大学マニフェスト研究所 顧問 北川 正恭氏
徳島 市内地区	【演題】 神山町に起業家育成の高専をつくる 神山まるごと高専の挑戦 【講師】 Sansan(株) 代表取締役社長/CEO 神山まるごと高等専門学校 理事長 寺田 親弘氏
徳島 県北地区	【演題】 四国新幹線と四国・西日本の発展 【講師】 京都大学大学院工学研究科 教授 藤井 聡氏
徳島 県南地区	【演題】 家具・インテリア業界の仕掛人に学ぶ ～家具屋3代目社長のマインドセット～ 【講師】 (株)リビングハウス 代表取締役 北村 甲介氏
徳島 県西地区	【演題】 日本経済の行方と地域企業の経営戦略 【講師】 エコノミスト BRICs経済研究所 代表 門倉 貴史氏

地区	内 容
香川 高松地区	【演題】 心で走る ～マラソンリーダーからの提言 【講師】 DeNAアスレティックスエリート アドバイザー 瀬古 利彦氏
愛媛 松山地区	【演題】 奇跡を起こした指導者たち 【講師】 (株)スポーツコミュニケーションズ 代表取締役 二宮 清純氏
愛媛 今治地区	【演題】 ポストコロナは地域の時代! ～これからの企業のあり方～ 【講師】 フリーキャスター 事業創造大学院大学 客員教授 伊藤 聡子氏
兵庫 淡路地区	【演題】 脳はだまして使え ～記憶とやる気の秘密～ 【講師】 東京大学薬学部 教授 池谷裕二氏
関西地区	【演題】 人生100年時代の創生 ～AIとの共存、もっと人生は楽しめる～ 【講師】 ITエバンジェリスト 若宮 正子氏
関西地区	【演題】 融合するモビリティとこれからの地域振興 ～多様性と連携を軸にした未来図～ -Uber Japan立上げのエピソードを交えて- 【講師】 Uber Japan 元代表取締役社長 塩濱 剛治氏

地域の価値創造に向けた取組み - 徳島大正銀行 -

●「とくぎん旗争奪 第2回U-9徳島県学童軟式野球大会」に協賛

スポーツ振興を通じて、未来を担う子どもたちの健全な成長を応援し、地域社会の発展に貢献できるよう努めています。

令和5年4月、学童野球の裾野拡大と協調性や創造性を育み、体力・競技力の向上を図ることを目的に開催された学童軟式野球大会に協賛しました。37チーム、総勢約470名の小学生が参加し、とくぎん旗を目指して日頃の練習の成果を発揮しました。



U-9 徳島県学童軟式野球大会

● 徳島インディゴソックス・スポンサーマッチの開催

地元プロスポーツを通じた地域活性化の一環として、徳島インディゴソックス球団への協賛を実施しています。

令和5年8月、四国アイランドリーグplusの徳島インディゴソックスVS香川オリブガイナースのスポンサーマッチを開催しました。

スポンサーマッチについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見合わせていましたが、今回4年ぶりの開催となりました。



徳島インディゴソックス・スポンサーマッチ(板東頭取による始球式)

● 地域行事への参加「阿波おどり」

令和5年8月、徳島の夏の祭典「徳島市の阿波おどり」に、連員80名と応援スタッフ22名の総勢102名による「とくぎん連」が、観客や地域のみなさまに、笑顔で踊りを披露しました。

今回で71回目の出場となりました。



南内町演舞場



本店横駐車場

環境保全への取組み

●リフレッシュ瀬戸内(海浜清掃)

阿南工業高等専門学校との連携協定に基づく、連携協力推進事業「環境保全活動」では、海浜の清掃活動を通じて“美しい海を守っていく”ことを参加者をはじめ多くの人々に訴えていくことを目的に活動しています。

令和5年6月、当行と阿南工業高等専門学校の職員が合同でボランティア活動に参加し、地元企業団体等を含め、総勢約200名で北の脇海岸(徳島県阿南市)の清掃活動を行いました。



北の脇海岸の清掃活動

人財活躍推進への取組み

●エンゲージメントサーベイ「モチベーションクラウド」の実施

職員のエンゲージメントを高めるため、組織の状態を測定するツールを導入し、タイムリーな意識調査からスピーディーかつ効果的な施策実行につなげるための仕組みを構築しています。

職員の価値観の変化や多様化等を踏まえて、現状を正しく認識した上で、働きがい向上のための施策をタイムリーかつピンポイントで実行していく必要性が高まっていることから、定期的に外部(専門家)の提言も受けながら、広い視野と知見を持って組織改善活動に注力しています。

●ベースアップ及び初任給引き上げの実施

令和5年7月の定例給与より、役職に応じて最大10.5%程度の賃金引き上げを行いました。また、令和6年4月入行の新入行員より、初任給を引き上げます。

今回のベースアップや初任給改定を通じて、昨今の物価高騰にともなう実質賃金の低下への対応を行います。また、職員の働きがいややりがいの向上を図るとともに、優秀な人材の確保を図ることで、お客さまに提供するサービスの向上や企業価値の向上に努めます。

●健康づくり推進活動功労者知事表彰を受賞

徳島県では、長年にわたり職員の健康づくりを率先して行ってきた模範的な事業所を毎年9月に表彰しており、当行は、令和5年9月に、令和5年度健康づくり推進活動功労者知事表彰(企業部門)を受賞しました。

以下に記載の健康づくりに関する取組みが認められ、健康保険組合連合会徳島連合会の推薦を受けて、表彰されることとなりました。

当行の健康づくりに関する取組み

- 職員の健診の受診率向上のために、人間ドック等の健診費用の補助や特定保健指導・二次検診の勧奨等を実施。
- 受動喫煙の減少に向けて、建物内の全面禁煙と就業時間中の禁煙を実施。
- 健康づくりへの様々な取組みを行い、運動習慣の定着に一定の成果。

データとコンサルティングの知見を活用して
組織のPDS(改善)サイクルを回します。

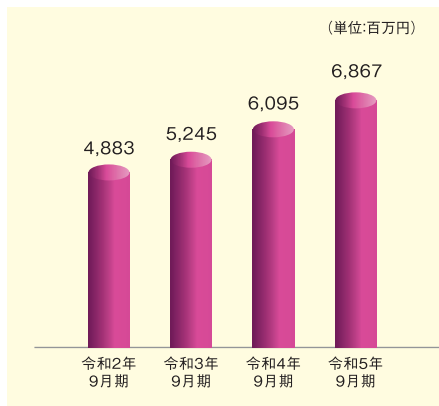


健康づくり推進活動功労者知事表彰式

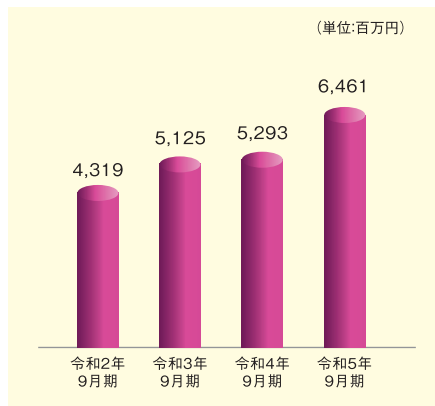
業績ハイライト - 徳島大正銀行 -

● 業績の概要(単体)

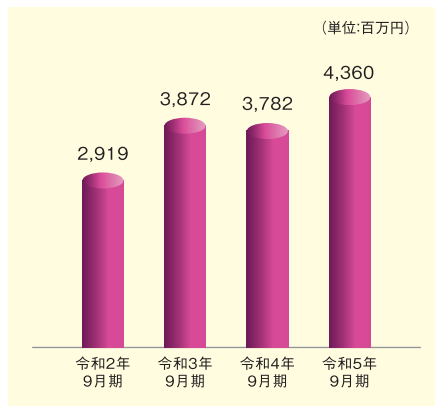
■ コア業務純益



■ 経常利益



■ 中間純利益



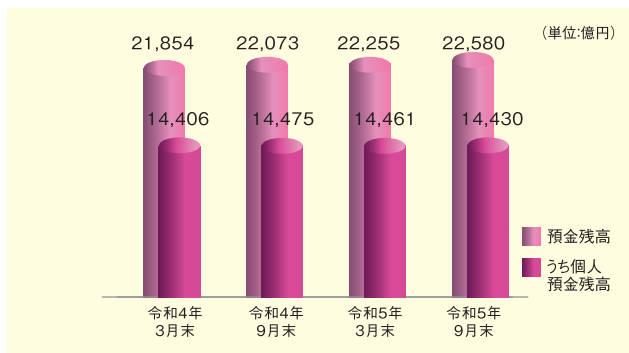
○銀行の本業の収益を示すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益が増加したこと等により、前年同期比772百万円増加して6,867百万円となりました。

○経常利益は、前年同期比1,168百万円増加して6,461百万円となりました。

○中間純利益は、前年同期比578百万円増加して4,360百万円となりました。

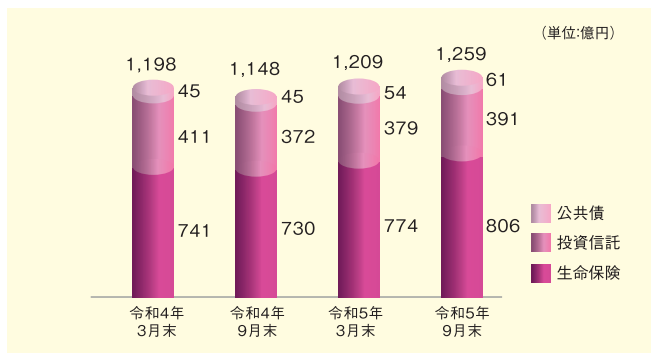
● 営業の概要(単体)

■ 預金残高



法人預金を中心として順調に増加したことにより、預金残高は前期末比325億円増加して2兆2,580億円となりました。

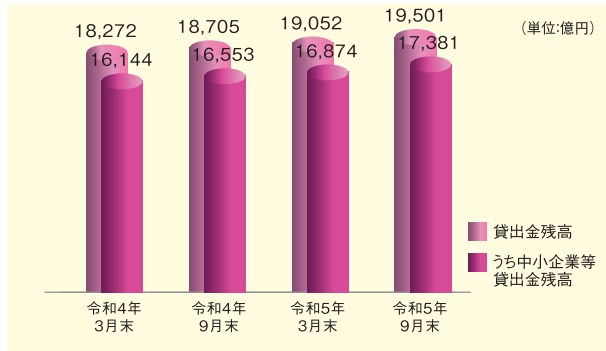
■ 預り資産残高



預り資産残高合計は前期末比50億円増加して1,259億円となりました。

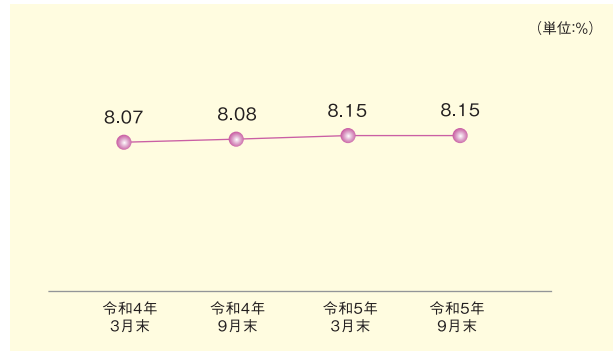
● 営業の概要(単体)

貸出金残高



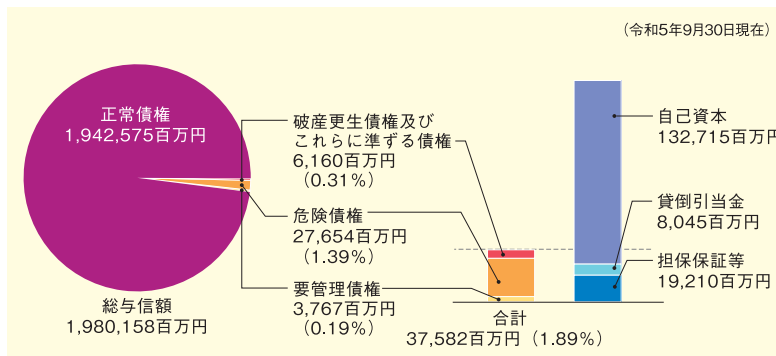
中小企業及び個人向け貸出等に取り組んだ結果、貸出金残高は前期末比449億円増加して1兆9,501億円となりました。

自己資本比率



経営の健全性を示す自己資本比率は、8.15%となりました。国内のみで営業する銀行に義務付けられた国内基準の4%のみならず、国際統一基準の8%を上回っており、健全な経営体質を維持しています。

● 金融再生法に基づく開示債権及び保全・引当等の状況



<用語解説>

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは？
破産手続開始、更生手続開始、更生手続開始の申し立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権のこと。
- 危険債権とは？
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権のこと。
- 要管理債権とは？
三月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権のこと。
- 正常債権とは？
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、及び要管理債権に該当しない債権のこと。

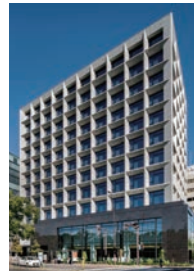
当行では、厳格な自己査定に基づいて、適切な償却・引当を実施しています。
令和5年9月末における金融再生法に基づく正常債権以外の債権は、37,582百万円となっていますが、そのうち27,256百万円は担保や引当金によりカバーされています。
残り、10,325百万円につきましては、自己資本132,715百万円により十分に備えています。

地域とともに、お客さまとともに - 香川銀行 -

● 香川銀行について

(令和5年9月30日現在)

トモニホールディングスグループの香川銀行は、香川県を中心とした四国地区、岡山・広島地区及び大阪地区を主たる営業基盤としています。令和5年2月1日で創立80周年を迎えました。



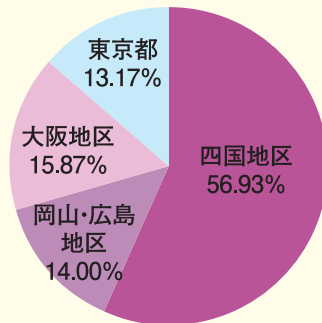
 香川銀行

設 立 日	昭和18年2月1日
所 在 地	香川県高松市亀井町6番地1
資 本 金	120億円
店 舗 数	89店舗(うち出張所6店舗)
従 業 員 数	992名

● 地域のお客さまとの取引状況

当行は、従来より「地域密着型金融」に注力しており、第19次経営計画(令和5年4月～令和8年3月)において、当行のパーパス(存在意義)を「**地域・お客さまを元気にする。**」と定め、顧客接点の拡大とコンサルティング営業により経営基盤の拡大を図るとともに、地域企業の生産性向上や地域経済の発展に貢献できるよう取組みを進めています。

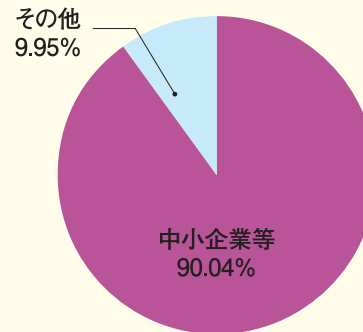
○貸出金における地域別内訳



貸出金残高1兆5,422億円のうち、四国地区、岡山・広島地区及び大阪地区での貸出金残高は1兆3,390億円であり、86.82%を占めています。

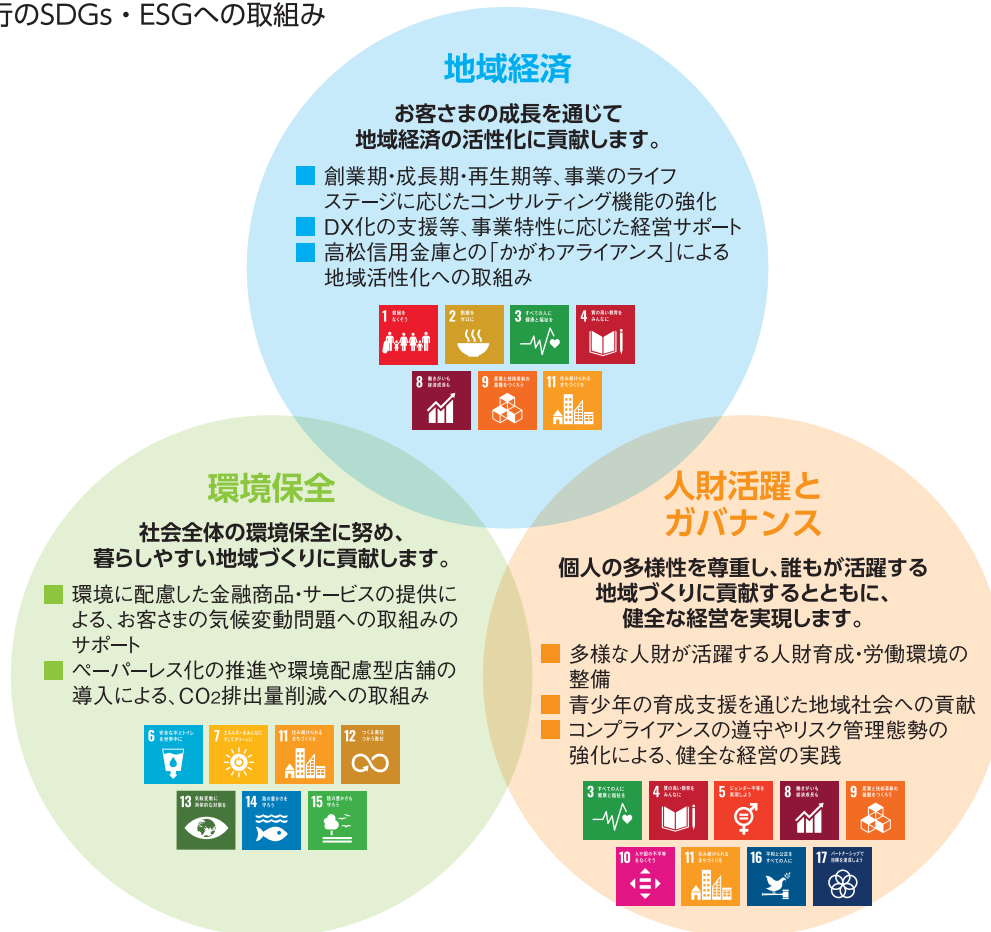
○貸出金における貸出先別内訳

(令和5年9月30日現在)



中小企業や個人向けの貸出金残高は1兆3,887億円であり、貸出金残高のうち90.04%を占めています。

● 香川銀行のSDGs・ESGへの取り組み



外部評価



健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」の認定を取得



女性の活躍推進が優良な企業として「えるばし」の認定を取得



仕事と子育ての両立を推進している優良な企業として「くるみん」の認定を取得

地域の価値創造に向けた取組み - 香川銀行 -

地域経済活性化への取組み

地域・お客さまを元気にするため、地域経済活性化に取り組んでいます。

●アフターコロナを見据えた本業支援

新型コロナウイルス感染症の影響や原油・原材料価格の高騰等により、事業活動に影響を受けられたお客さまに対し、資金繰りを支援するとともに、アフターコロナを見据えた本業支援や地域経済全体の活性化に注力しています。

コロナ借換保証制度	「経営行動計画書」を作成の上、伴走支援を行うことで、借換時の信用保証料を大幅に引き下げることができる制度であり、借換え需要や新たな資金需要に対応します。
かがわ地方創生ローン	日本政策金融公庫と連携した、無担保かつ保証人が不要で、長期の資金が確保できる融資商品です。
経営改善サポート融資	経営改善に取り組むお客さまに対し、「経営改善計画」に基づいた事業の健全な運営を支援する融資商品です。

●コンサルティング営業の強化

多様化かつ高度化するお客さまのニーズに対し、「事業承継支援」「事業再構築補助金の受給支援」「オーダーメイドの個別提案」など、あらゆる支援を行い、お客さまの企業価値向上に積極的に取り組んでいます。

★M&Aの支援活動の実例

中小企業における後継者不在等を理由に事業承継に対する相談が増加している中で、令和5年度上期は、取引先8社のM&A支援実績となりました。

具体例として、木材や建築資材の卸売業を展開する取引先からの後継者不在を理由とした会社譲渡の相談に対し、住宅資材や同設備機器の販売を中核に事業を展開する企業への紹介を通じて、M&Aが成約となりました。譲受企業にとっては、営業エリア及び取引先の拡大につながり、同社の更なる発展が期待されています。



譲受企業のホームページより

★事業再構築補助金を活用した支援活動の実例

コロナや物価高騰による環境変化の中で事業再構築に取り組む事業者に対し、事業再構築補助金受給に伴う事業計画書策定支援に積極的に取り組んだ結果、令和5年度上期に20件が採択となりました。

具体例として、電気関連機器を製造する取引先が、自社ブランド製品の開発・製造を通じて新市場を開拓する事業計画書策定にあたり、市場調査や新事業展開に伴うコンサルティング等を行った結果、補助金を活用した新設備の導入につなげることができました。



補助金活用により導入した新設備

●多様な店舗戦略の取組み

★令和5年7月 「兵庫町支店」新築移転オープン

多目的スペースである「コミュニティテラス」を設置し、地域のPR情報の掲示や催し物・会合等の開催に加え、希望されるお客さまには商品の展示・販売にも利用いただける仕様となりました。



★令和5年10月 「品川支店」開設

東京都では4店舗目となる品川支店では、東京地区における事業基盤を強化し、ビジネスマッチング、取引先紹介等を含めた金融仲介機能の発揮により、地域経済の持続的な発展に貢献していきます。



●「香川銀行GiraSol(シラソル)」の取組み

国内最高峰の日本ハンドボールリーグでプレーする「香川銀行GiraSol」が、地域に元気を届けます。

★岡田彩愛選手の日本代表「おりひめジャパン」選出

岡田彩愛選手が日本代表に選出され、「パリ2024オリンピック女子アジア予選」等に出場しました。

令和5年5月、香川県で強化合宿が開催され、地元の強豪校とのトレーニングマッチや試合後のサイン会を通じて、地域の人々との交流を図りました。



香川県で開催された日本代表強化合宿

★「香川銀行GiraSol」による「体験授業」及び「部活動指導」の実施

令和5年8月・9月、地元の小・中・高校6校を訪問し、「体験授業」や「部活動指導」を行いました。「体験授業」を実施した小学校の子どもたちから、後日、「ハンドボールが大好きになりました、頑張れシラソル!」といった寄せ書きが届きました。



ハンドボール体験授業

●「公益財団法人 香川銀行青少年育成支援財団」の取組み

当財団は、国際交流、教育、スポーツ、音楽など青少年への様々な支援を通じて地域社会の発展に貢献することを目的として活動しています。

平成2年から開催している「オリーブ杯中学生英語スピーチコンテスト」は今年で34回目を迎え、総出場者数は573名になりました。

また、令和6年に30周年を迎える「香川オリーブ少年少女合唱団」は、「西日本地区中日友好交流大会レセプション」に出演し、中国南昌市の中学生と共演するなど、活動の幅を広げています。



オリーブ杯中学生
英語スピーチコンテスト



香川オリーブ少年少女合唱団

●「かがわアライアンス」の取組み

当行と高松信用金庫の業務連携協定である「かがわアライアンス」は、令和3年5月の締結以降、ATM相互無料化、協調融資、共同販売会、セミナー、SDGsリレーマラソンの開催等、地域活性化に資する様々な取組みを展開しています。

令和5年7月・8月、小学生などにSDGsに触れ、関心を持ち、考えるきっかけにしておらうと、地域の産業をテーマにした「かがわアライアンス子どもSDGs教室」を開催しました。「香川銀行兵庫町支店コミュニティーテラス」で開催し、約60名の親子が参加しました。



【第1回】ハラール、ヴィーガンに対応した
さぬきうどんを試食



【第2回】香川県の伝統産業である
盆栽作りを体験

地域の価値創造に向けた取組み - 香川銀行 -

環境保全への取組み

地域・お客さまの持続可能性向上のため、脱炭素社会の実現に向け取り組んでいます。

● サステナブルファイナンスの推進

地域やお客さまのサステナビリティ向上への取組みを支援するため、サステナブルファイナンスを推進しています。

★「事業性評価に基づく融資取組(サステナブル)」の実例

本商品は、環境に関する外部認定を受けられているお客さまや低炭素化など、環境に配慮した取組みを行うお客さまが利用いただける商品です。

香川、近畿、中国地方を中心に、環境に配慮した取組みとしてCO₂排出量削減に効果が認められるエアコン等の空調機器等の分解・洗浄を中心とした、保守修理・メンテナンス等を一貫して行っている事業者に対し、サステナブルの要素を考慮した「事業性評価に基づく融資取組(サステナブル)」を実行しました。同社の高い技術力の発揮によって、CO₂排出量削減につながり、脱炭素化社会の実現に向けた効果が期待されています。



空調機器のメンテナンスにより、
CO₂排出量削減に寄与

● CO₂排出量の削減に向けた取組み

★「省エネ設備紹介」でお客さまの省エネ化を支援

お客さまのコスト削減及び地域の脱炭素化を目的として、株式会社ネクシーズとのビジネスマッチングを通じて、LED照明や業務用空調、厨房機器等の最新省エネ設備の紹介を実施しています。

LED照明導入による
CO₂削減相当量の累計
(令和5年3月末時点)
3,702t

★店頭事務の「ペーパーレス化」の推進

「デジタル戦略」に基づき、タブレット端末を全店に配布しています。これにより、タブレット端末上で金融商品販売に係る手続き等が可能となっており、口座開設、投資信託、生命保険手続きのペーパーレス受付率は約9割となっています。ペーパーレス化の推進は、お客さまによる書類記入の負担軽減やお手続き時間の短縮にも寄与しています。今後も、タブレット端末の機能拡張を進めていきます。



タブレット端末による金融商品販売

● 清掃ボランティアの取組み

環境保全の取組みとして、職員が地域の公園、駅周辺、海岸等の清掃ボランティアを行いました。当行では、豊かな自然に囲まれた香川県を中心とした瀬戸内経済圏を地盤とする地域金融機関という自覚のもと、今後も環境保全の取組みを推進していきます。



公園等の清掃ボランティア

人財活躍推進への取組み

役職員や地域の人々が働きがいを感じ、最大限の力が発揮できる環境づくりに取り組んでいます。

●仕事と育児の両立支援に向けた取組み

令和5年4月からスタートした「第19次経営計画」の基本戦略の一つである人財戦略「多様な人財の活躍促進」の施策として、子育て世代の職員の働きやすさ向上を図っています。

制度の見直しや事業所内保育所「トモニスマイル保育園」の開設等に加え、男性職員の育児休業も奨励しています。

育児短時間勤務の勤務体系

- ①対象者の拡大(実施済み)
小学校入学前までの子 → 小学校3年生終了までの子
- ②勤務パターンの拡大(令和5年10月～)
3パターン → 9パターン



トモニスマイル保育園(当行栗林支店2階)



イクメン休暇

●人づくりの取組み

★「公募型研修」の拡充

職員が自律的に学び成長していくために、公募型の研修を実施しています。目指すキャリアや得意分野に応じて能力を高められる人づくりの態勢を構築するとともに、ネット学習ツールの拡充や「土曜学校」の開催等により、時間を有効活用して学習できる環境を整備しています。



公募型研修

★副業制度(令和3年6月導入)

10名以上の職員が「副業制度」を利用し、自身の知識やスキルを地域住民等に提供しています。

【実施事例】

- ・中小企業診断士資格を活かしたセミナーの開催
- ・ソフトテニス指導、大会等の運営補助
- ・日本語教育の講師、観光大使、グラフィックデザイン 等



観光大使



グラフィックデザイン

●ベースアップ及び初任給引き上げの実施

物価上昇等の社会状況への対応並びに職員の働きがいの向上を目的に、令和5年7月の定例給与より、役職に応じて最大7%程度のベースアップを行いました。また、優秀な人材の確保を目的に、令和6年4月入行の新入行員より、初任給を引き上げます。

今後も人的資本投資に積極的に取り組むことで、優秀な人材を確保するとともに、意欲とチャレンジ精神に溢れた人財の育成を図り、地域経済の発展と地方創生に全力で取り組んでいきます。

●「公益信託香川銀行高齢者生涯学習振興基金」による取組み

～今回で32回目の助成を迎え、助成先累計は262件、助成金総額は4,396万円～

当基金は、香川県下において、高齢者を対象とした生涯学習活動を行う団体又は個人に対し助成することにより、地域の高齢者がその年齢にふさわしい社会的な能力向上と積極的な生きがいを求めて学習する機会の拡大に寄与することを目的としています。令和5年度は11先に助成を行いました。

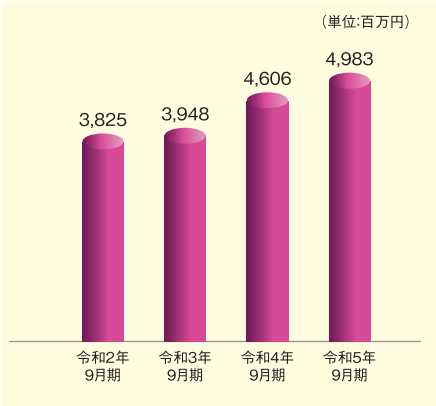


目録贈呈式

業績ハイライト - 香川銀行 -

● 業績の概要 (単体)

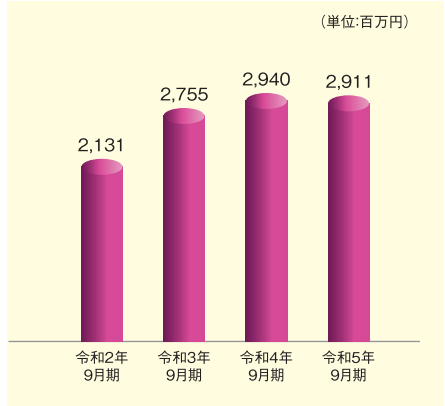
■ コア業務純益



■ 経常利益



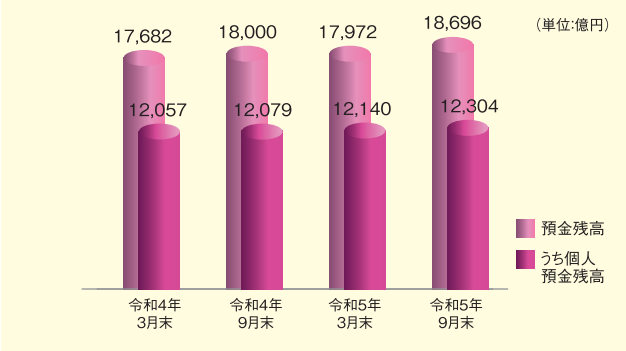
■ 中間純利益



- 銀行の本業の収益を示すコア業務純益は、資金利益が増加したこと等により、前年同期比377百万円増加して4,983百万円となりました。
- 経常利益は、前年同期比438百万円増加して4,533百万円となりました。
- 中間純利益は、前年同期比29百万円減少して2,911百万円となりました。

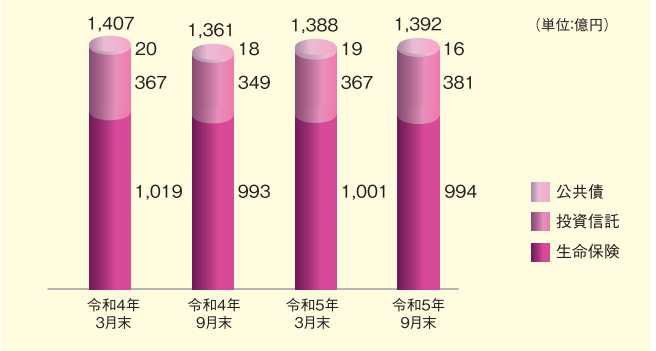
● 営業の概要 (単体)

■ 預金残高



個人預金、法人預金ともに順調に増加したことにより、預金残高は前期末比723億円増加して1兆8,696億円となりました。

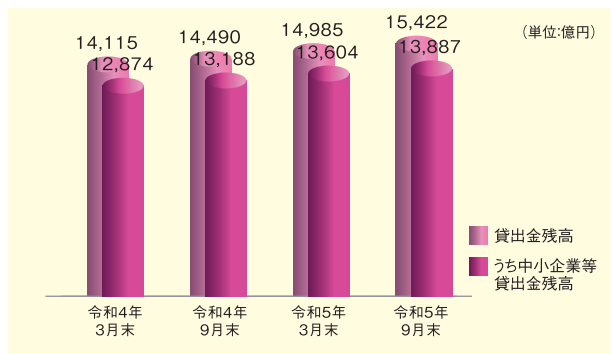
■ 預り資産残高



預り資産残高合計は前期末比3億円増加して1,392億円となりました。

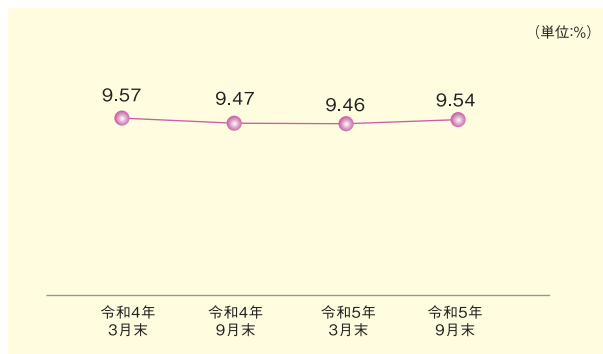
● 営業の概要(単体)

貸出金残高



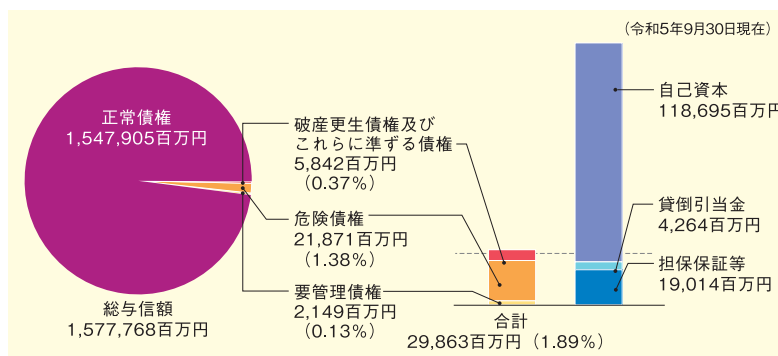
中小企業及び個人向け貸出等に積極的に取り組んだ結果、貸出金残高は前期末比437億円増加して1兆5,422億円となりました。

自己資本比率



経営の健全性を示す自己資本比率は、9.54%になりました。国内のみで営業する銀行に義務付けられた国内基準の4%のみならず、国際統一基準の8%を上回っており、健全な経営体質を維持しています。

● 金融再生法に基づく開示債権及び保全・引当等の状況



<用語解説>

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは？
破産手続開始、更生手続開始、更生手続開始の申し立て等事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権のこと。
- 危険債権とは？
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権のこと。
- 要管理債権とは？
三月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権のこと。
- 正常債権とは？
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、及び要管理債権に該当しない債権のこと。

当行では、厳格な自己査定に基づいて、適切な償却・引当を実施しています。
令和5年9月末における金融再生法に基づく正常債権以外の債権は29,863百万円となっていますが、そのうち、23,279百万円は担保や引当金によりカバーされています。
残り6,584百万円につきましては、自己資本118,695百万円により十分に備えています。

店舗ネットワーク

- ……徳島大正銀行
- ……香川銀行

HIROSHIMA

令和5年7月 香川銀行 兵庫町支店 新築移転オープン

兵庫町支店を建替えし、新築移転オープンしました。新店舗では、地域貢献への取組みとして、多目的スペースである「コミュニティテラス」を設置しました。この「コミュニティテラス」では、地域のPR情報の掲示や催し物・会合等の開催に加え、希望されるお客さまには商品の展示・販売にも利用いただける仕様としました。

オープン当日には、徳島県の洋菓子店による限定販売が行われ、焼き菓子セットが即日完売となりました。

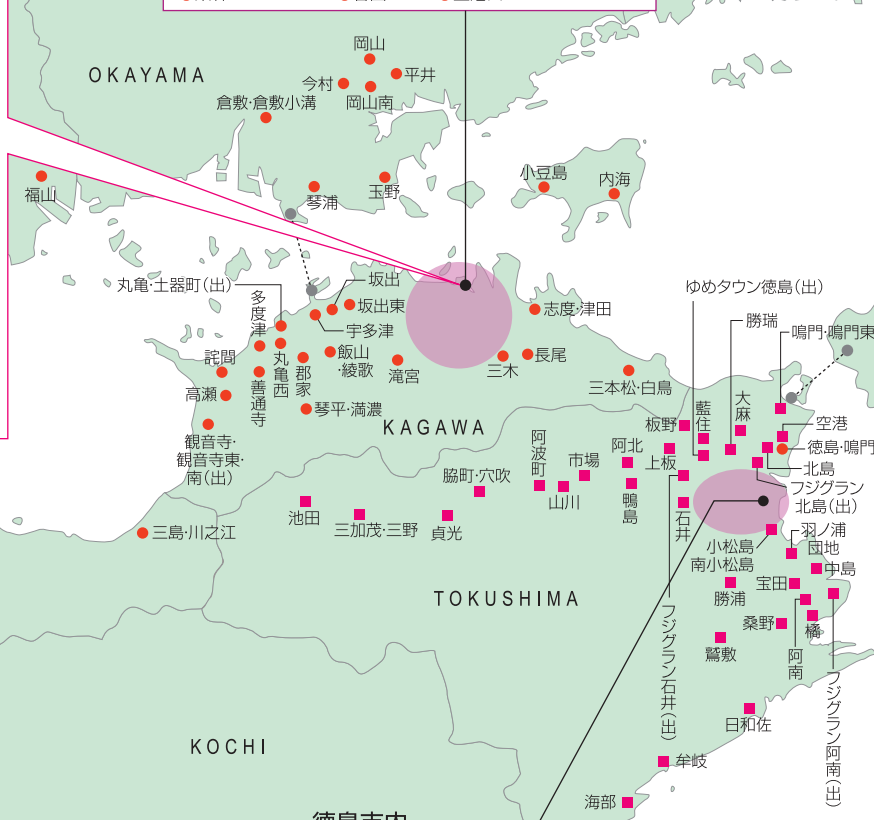


高松市内

- 本店・南新町(出)・宮脇町(出)
- 兵庫町
- 県庁
- 西宝町・中央市場・鶴市(出)
- 栗林
- 今里
- 通町・福岡町
- 東
- 木太
- 伏石
- 三条
- 香西
- 勅使
- 屋島・湊元・源平通(出)
- 水田
- 川島・高田
- 仏生山・浅野
- 空港口
- 円座・岡本
- 国分寺
- 高松・丸亀

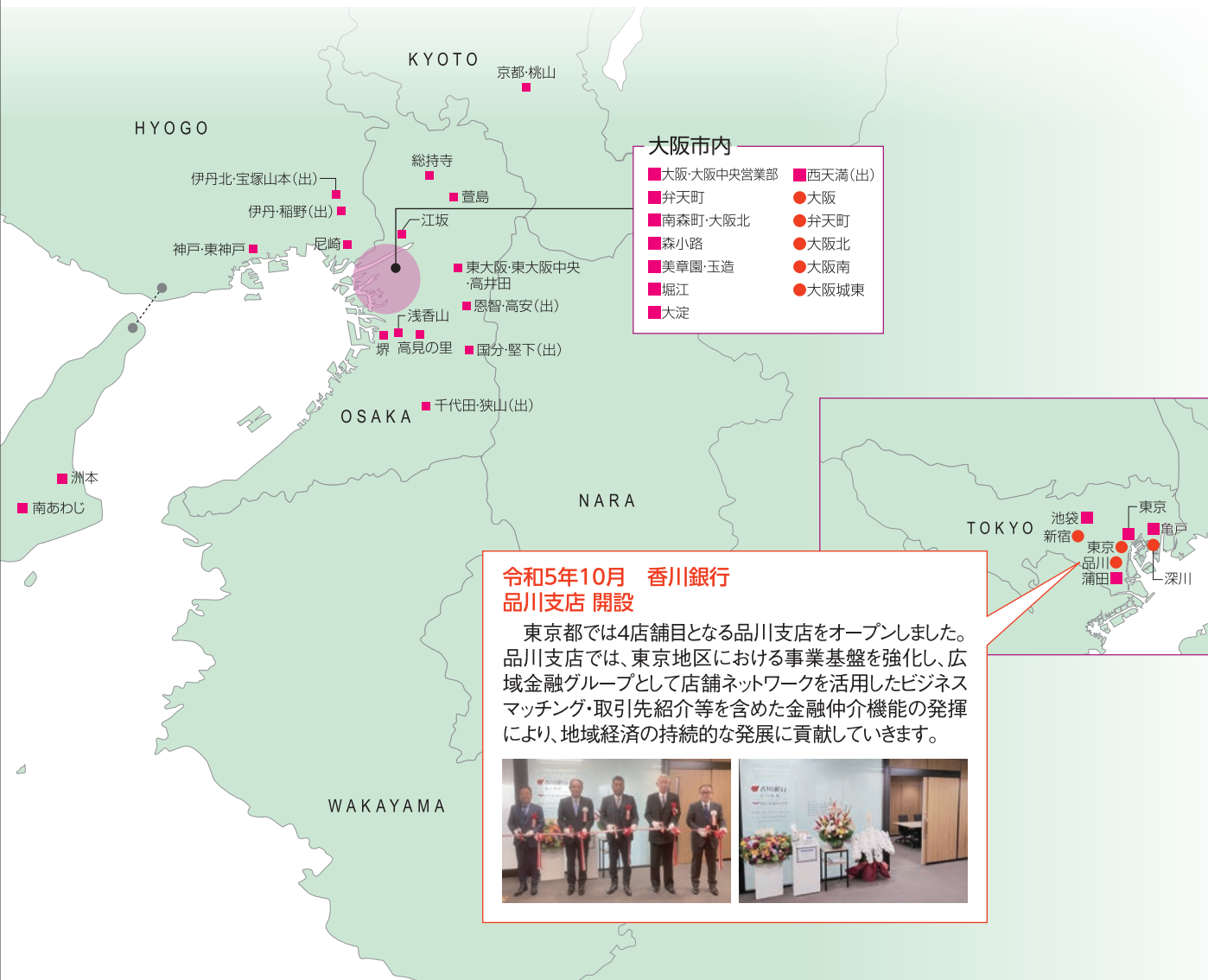
バーチャル店舗

- セルフうどん



徳島市内

- 本店
- 佐古・佐古東
- 溝東
- 清北・助任
- 昭和町・南昭和町
- 二軒屋
- 徳島駅前
- 国府
- 津田
- 八万
- 加茂名
- 沖洲
- 川内
- 矢三
- 地蔵橋
- 流通センター
- 県庁
- 論田
- 国府北
- マリンピア



	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	大阪府	兵庫県	京都府	岡山県	広島県	東京都	合 計
徳島大正銀行	61 (4)	2	2	1	26 (4)	9 (2)	2	0	0	4	107 (10)
香川銀行	2	58 (6)	11	1	5	0	0	8	1	4	90 (6)
合 計	63 (4)	60 (6)	13	2	31 (4)	9 (2)	2	8	1	8	197 (16)

※ () 内は、うち出張所の数 ※香川県にはバーチャル店舗を含む

(令和5年11月30日現在)

株式のご案内

●事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

●定時株主総会

毎年4月1日から3か月以内に招集

●公告方法

電子公告 インターネットホームページ <https://www.tomony-hd.co.jp/>

(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞、高松市において発行する四国新聞及び徳島市において発行する徳島新聞に掲載して行います。)

●上場証券取引所・証券コード

東京証券取引所（プライム市場）・8600

●1単元の株式数

100株

●株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

●株式事務取扱場所

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

☎ 0120-094-777 (通話料無料)

受付時間：平日9時～17時（土・日・祝日等を除く）

インターネットホームページ <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

●未受領の配当金のお支払い

【郵送】〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（配当係）

【窓口】三菱UFJ信託銀行の本店

※当社定款の規定によりお支払い開始日から満5年を経過しますと、お支払いできなくなりますので、お早めにお受取りください。

●各種お手続き窓口（配当金受取り方法の変更、住所変更等）

◎証券会社等の口座に株式をお持ちの株主さま

⇒当社株式を預けられている **証券会社でのお手続き** になります。

お取引されている証券会社にお問合せください。

なお、どちらの証券会社でお取引されているかは、株主さまの個人情報に該当するため、当社及び株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行では把握しておりません。

◎特別口座で株式をお持ちの株主さま

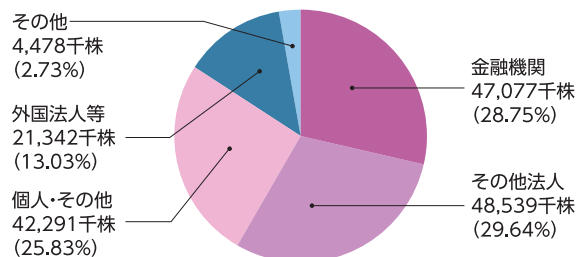
⇒**三菱UFJ信託銀行** ☎ 0120-094-777（通話料無料）までお問合せください。

株式の状況

株式・株主の状況（令和5年9月30日現在）

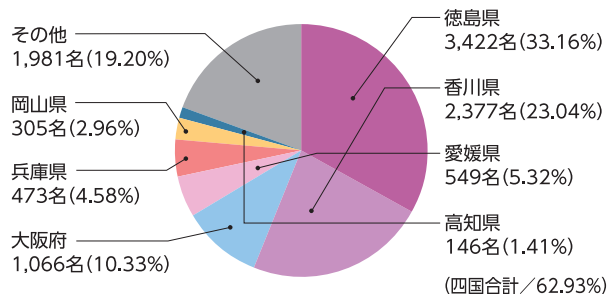
発行済株式総数 …………… 163,728千株

○所有者別株式数内訳



株主数 …………… 10,319名

○地域別株主数内訳



トモニホールディングス 株式会社

香川県高松市亀井町7番地1 TEL(087)812-0102 <https://www.tomony-hd.co.jp/>

株式会社 徳島大正銀行

徳島県徳島市富田浜1丁目41番地 TEL(088)623-3111 <https://www.tokugin.co.jp/>

株式会社 香川銀行

香川県高松市亀井町6番地1 TEL(087)861-3121 <https://www.kagawabank.co.jp/>

発行／令和5年12月

○本誌は令和5年11月14日発表の決算短信に基づいて作成しています。
○本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。